

あいのり

Monthly

2025.7.31

7月のマーケット概要

7月の米国の株式マーケットは、各種経済指標に未だ関税の影響がさほど見られない中、5月、6月に続き上昇しました。

経済指標では、月初に発表された雇用統計で雇用者数が予想より増加し、失業率は4.1%に低下したこと、またインフレ指標も目標の2%へは届かず予想比では、上振れているものの限定的になっているということなどから、経済は比較的堅調に推移していると見えます。

その他のトピックでは、上旬に債務上限引き上げを含む大型減税（0BBB）法案が可決されました。同法案に含まれていた設備投資の即時償却などは米ハイテク企業に追い風となりナスダックの大幅な上昇に寄与しました。

関税交渉については、中国を除き、日本・EUが15%へ（条件付きながら）決着したことをはじめ、その他新興国もほぼ出揃い不確実性が縮小したことを、まずはマーケットの好材料として受け入れられました。

月末の日銀金融政策決定会合では、予想通り政策金利は現行の0.5%程度に据え置きとなり、発表された経済・物価展望レポートでは食料品価格の上昇などを主因として物価見通しは上方修正されました。その後の植田日銀総裁の会見では、米関税措置の影響が不透明であるため、時間をかけて検証する必要があるという判断が示され、経済・物価情勢次第で利上げの可能性も排除しないという内容でした。

また、米FOMCでも、政策金利は4.25-4.50%に5会合連続で据え置かれ、その後のパウエル議長の会見では、今後出てくる経済データや見通しを総合的に判断するというスタンスで、今回メンバーの2人が利下げを推しましたが9月利下げに関しては明確な示唆はありませんでした。

今後の見方ですが、米国との相互関税が大方決着し今後は実施段階に入ることになります。それは世界経済にとって導入前に比べると明らかにマイナス要素であり、マーケットはその影響度合いを見定めることになります。

株式市場は今年4月の大きな下落後、不透明感が払しょくされながら徐々に上昇し、特に米国株はハイテク株が牽引し史上最高値を更新して上昇してきました。これは、株価水準が4月以来の割高水準に戻ってきたことであり、また関税の世界経済に対する悪影響が今後のデータで出てくることが想定されるので、季節的な要因も勘案すると、8月以降の相場に対しては比較的慎重なスタンスで臨む予定です。



左記のQRコードよりXアカウントにアクセスいただけます。
パリミキアセットマネジメント【公式】
@PM_Asset

パリミキアセットマネジメント
ファンドマネージャー
宇野 隆一郎



PARIS MIKI ASSET MANAGEMENT

【7月の運用コメント】

基準価額は月間で+2.87%となり、年初来で+7.85%となりました。

個別ファンドの騰落率については、上昇の寄与度が大きかったモーラントライトが騰落率+6.56%、トリゴンが同+5.43%、コムジェスト世界が同+5.03%などでした。一方、下落に寄与したのはチカラインディアンのみで騰落率▲0.49%でした。

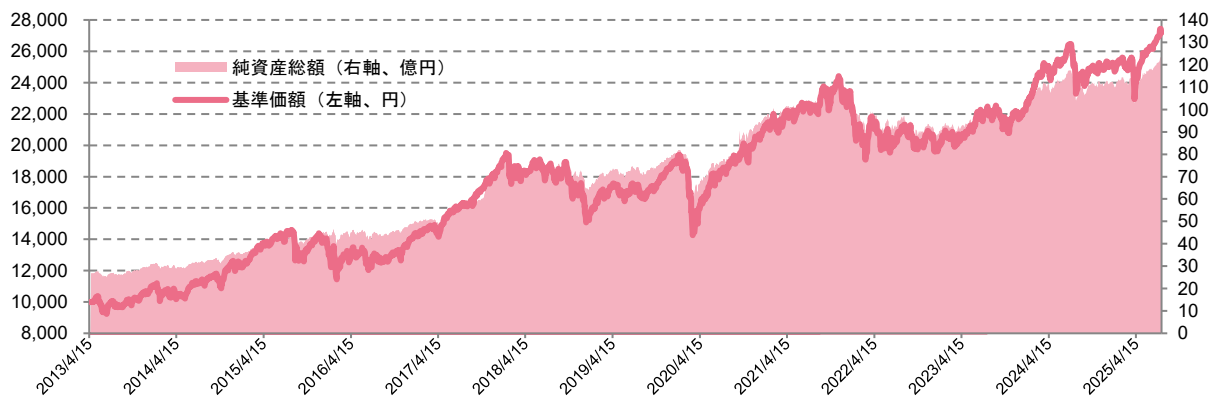
7月の売買では、金鉱株ファンドコンウェーブ・ゴールドを追加する一方で金鉱株ETFを売却し、ピクテ・ゴールドを更に追加しました。売却は世界株式ファンド、欧州株ファンド、日本小型株ファンド、日本株ETFなどを売却しました。キャッシュ比率は前月の7.79%から10.89%へ増加しています。

為替が、対ドルで約5円(+3.16%)、対ユーロでは約1円(+0.64%)円安へ推移し、ポートフォリオを+0.29%引き上げたこととなります。

現状の外貨資産リスク(37%)に対する為替ヘッジ率は、30%で、全体のポートフォリオの内、ヘッジ後の外貨リスクは25%です。

基準価額と純資産総額の推移

組み入れファンドTOP5 基準価額の前月比

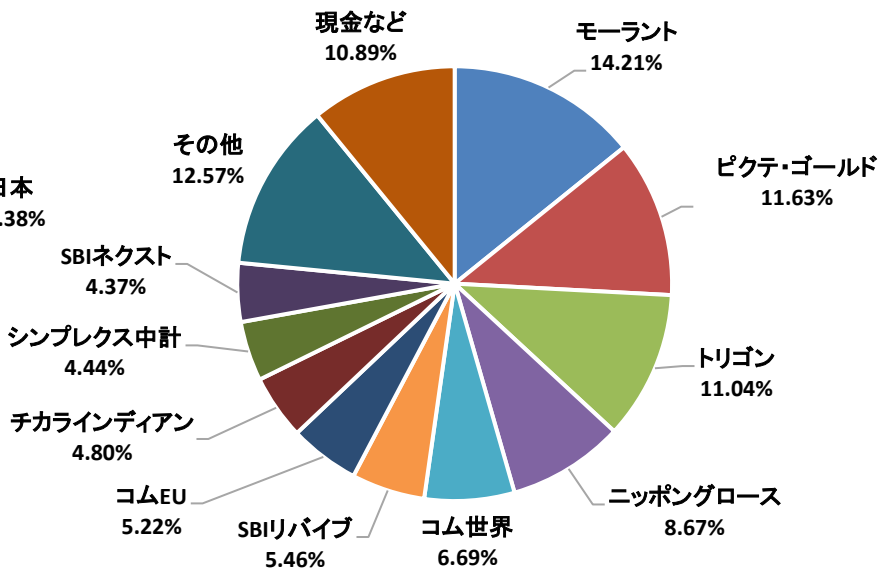
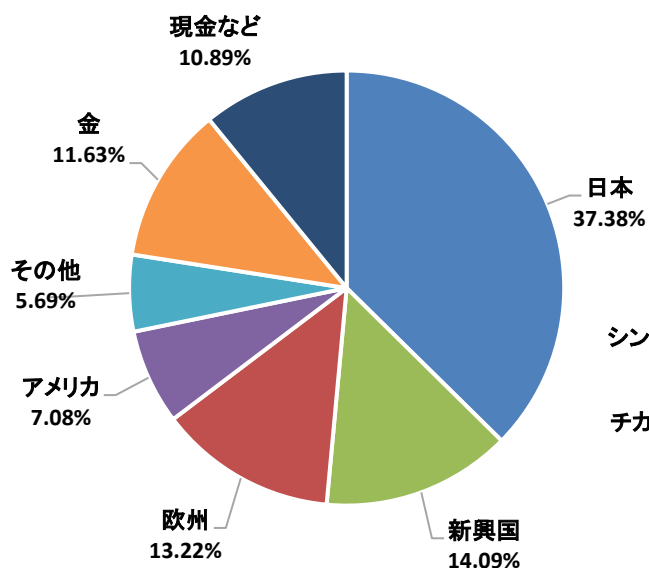


モーラント	6.56%
ピクテ・ゴールド	0.51%
トリゴン	5.43%
ニッポングローブ	4.06%
コムジェスト世界	5.03%

コードモファンド概況

基準価額	27,198円	設定日	2013年4月15日
純資産総額	12,236百万円	信託期間	無期限
ボラティリティ(1年)	9.79%	決算日	毎年2月25日 (休業日の場合は翌営業日)

資産構成比率(組入ファンド全17本)(左:国別、右:ファンド別)



期間別騰落率(%)

1ヵ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	5年	10年	設定来
2.87%	8.42%	7.11%	8.11%	30.75%	48.20%	89.18%	171.98%
					(複利年率)	(複利年率)	(複利年率)
					(8.18%)	(6.58%)	(8.47%)

ファンドにかかわる費用

運用管理費用
(信託報酬)

年率1.10%(税抜き1.0%)

組入れ投資信託証券も含めた実質的な負担 年率1.75±0.5%(税込/概算)

【7月の運用コメント】

基準価額は月間で+2.55%上昇し年初来で+2.96%となりました。

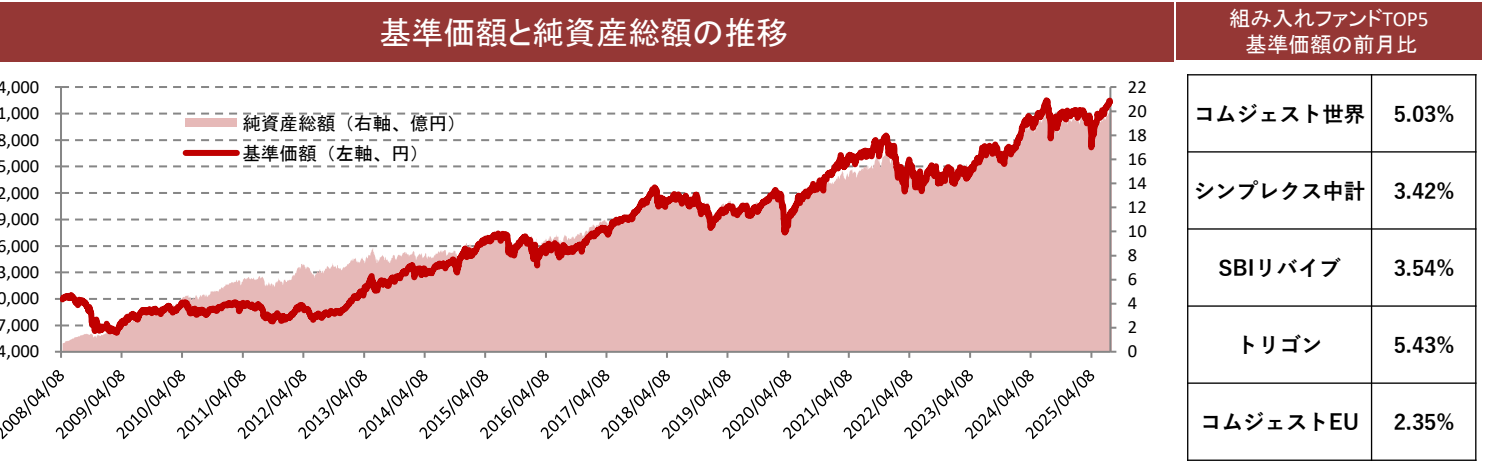
個別ファンドの騰落率については、上昇寄与が高かったのはコムジェスト世界が騰落率で+5.03%、トリゴンが同+5.43%、シンプレクス中計が同+3.42%などでした。下落に寄与した銘柄はチカラインディアンファンドだけで騰落率は、▲0.49%でした。

7月の売買は、金鉱株ファンドコンウェーブ・ゴールドを3%新規追加し、チカラインディアンファンドを+2%追加しました。

一方、売却では、日本中小型株ファンド、日本株ETFを売却しました。キャッシュ比率は前月9.47%から11.45%へ増加しております。

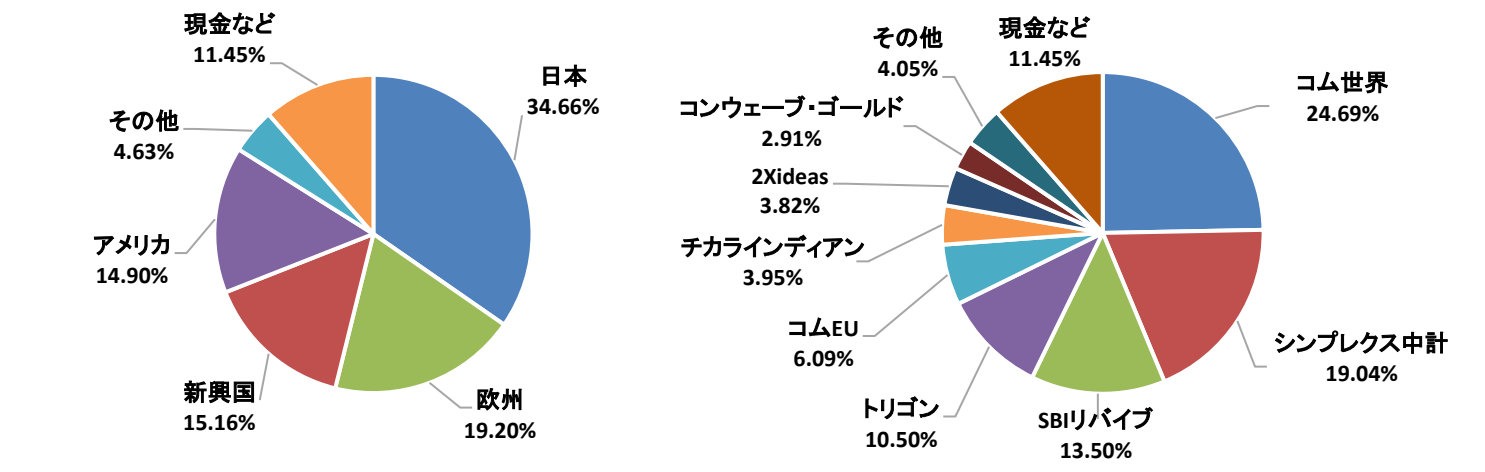
為替が、対ドルで約5円（+3.16%）、対ユーロでは約1円（+0.64%）円安へ推移し、ポートフォリオを0.76%引き上げたこととなります。

現状の外貨資産リスク（51%）に対する為替ヘッジ率は、15%で、全体のポートフォリオの内、外貨リスクは44%です。



浪花おふくろファンド概況				
基準価額	32,335円	設定日	2008年4月8日	
純資産総額	2,010百万円	信託期間	無期限	
ボラティリティ(1年)	13.07%	決算日	毎年3月3日（休業日の場合は翌営業日）	

資産構成比率（組入ファンド全10本）（左：国別、右：ファンド別）



期間別騰落率(%)							
1ヵ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	5年	10年	設定来
2.55%	8.74%	3.42%	4.92%	32.74%	47.57%	89.90%	223.35%
					(複利年率)	(複利年率)	(複利年率)
					(8.09%)	(6.62%)	(7.01%)

ファンドにかかわる費用	
運用管理費用 (信託報酬)	年率0.99%(税抜き0.9%) 組み入れ投資信託証券も含めた実質的な負担 年率1.65±0.5%(税込/概算)

コドモファンド・浪花おふくろファンドにかかわる共通のその他費用・手数料

信託財産に関する租税、投資対象とする投資信託証券の売買に発生する売買委託手数料及びその手数料に対する消費税相当額等の費用、外貨建資産の保管等に要する費用は、お客さまの負担として、信託財産中から実費を負担します。

設定・運用・販売は株式会社パリミキアセットマネジメント／金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第2727号

※比率は四捨五入の関係で合計が100%にならない場合があります。

日本車は大丈夫か？——トランプ関税・円安・そしてEVブームの終焉

トランプ関税がもたらす新たな構図

2025 年、トランプ大統領の関税政策が導入され、日本の自動車産業に緊張感が走りました。当初、輸入車や部品に最大 25% の関税が課されるという発表は、各国メーカーにとって大きな負担となるかに見えました。

結局、日本と欧州、その他同盟国に対しては 15% で着地しましたが、日本の自動車メーカーの業績予想の大幅な下方修正が続いています。日本車は大丈夫なのでしょうか？



まず、意外に議論の対象になっていないのに重要なものが為替です。仮にこの関税が適用されても、現在の円安水準——1 ドル = 150 円前後——がもたらす価格優位を考えると、日本のメーカーにとってはむしろ有利な状況とも言えます。2010 年代の為替水準と比較すれば、20~30% 程度の輸出競争力が自然についてくる構図です。

逆に、ユーロ高が進行する中で欧州勢は価格転嫁が難しく、米市場での利益確保に苦慮しています。また、皮肉なことにアメリカの自動車メーカーは海外へ生産拠点を移しており、特に GM は海外比率が約 50% もあることから関税の影響を大きく受けそうです。

一方、トヨタやホンダなど日本の主要メーカーは、すでに米国南部に強固な生産拠点を構築済みであり、関税の影響を最小化できる体制を整えているのです。

EV シフトの本質——欧州による“ハイブリッド潰し”

そもそも、現在の EV シフトには、欧州の政治的・産業的な意図が色濃く反映されています。2000 年代、トヨタのハイブリッド技術 (HV) は、欧州メーカーにとって明確な脅威でした。HV 市場では完全に出遅れた彼らは、「クリーンディーゼル」で対抗しました。実際私がスイスにいた 2000 年代初頭には、ディーゼルの SUV がエコカーとして大人気でした。しかし、2015 年のディーゼルゲート (VW 排ガス不正) によって彼らの戦略は破綻してしまいます。

この失敗を埋め合わせるために、欧州が新たに掲げたのが EV です。HV を「過渡技術」、EV を「最終解」と位置付けることで、トヨタに先行されていた土俵を“仕切り直した”とも言えるのです。

EV ブームの終焉

ところが、現在その EV 戦略が足踏み状態にあります。米国をはじめとする主要市場では、EV 販売が伸び悩み、インフラ整備やバッテリーの不安が顕在化してきました。中国経済の悪化から、供給過剰の EV の価格は崩壊し、レッドオーシャン化が進んでいます。

そもそも地球環境問題がクローズアップされる中注目された EV ですが、製造過程では膨大な CO2 を排出し、バッテリーも年々性能が劣化していった挙句、そのバッテリーが巨大な産業廃棄物になってしまうという、およそエコとは縁遠い存在ということが次第に明らかにされてきました。

そんな中、消費者にとって「燃費がよく、充電不要で、信頼性が高い」ハイブリッド車が現実的な選択肢として再評価されているのです。

第二の黄金時代を築くために

日産を筆頭に、日本の自動車メーカーも苦戦しているような印象を受けますが、為替、政策、産業構造、そして技術的蓄積——これらすべてが今、日本の自動車産業にとってプラスに働いているのです。

EV という「欧州のゲームチェンジ」に耐え、逆転の地歩を築きつつある今こそ、日本の自動車産業にとって第二の黄金時代の幕開けとなるべき時なのかもしれません。



(株)パリミキホールディングス
代表取締役会長
多根 幹雄



あいのり仲間

残暑御見舞申し上げます

猛暑続きの毎日、人生初の二十四時間エアコンの中での暮しです。少し前に後期高齢者運転免許の更新で「認知テスト」を受けました。前回からの三年で記憶力が低下して、ちよつと落ち込みました。いよいよ高齢者を自覚しないとはいけませんね。私の母方の家系は女性が長命で、曾祖母が百歳のときにお祝いをした記憶があります。きんさんぎんさんのように和服で「小っちゃい婆ちゃん」でした。

た。母も百歳まで元気で長生きでしたが、今は長生きも「めでたい」なんて言えない時代になって来ました。親が百歳だと世話する子供も高齢者で、少子高齢化の中、健康に気を付けると共に経済的な自立が大事になります。私も親の介護をしながら、自分の老後を考えるようになりまして。五十歳を前に、主人が七くなつて、人生設計とお金について大きく見直さなくてはいけなくなつた頃、日本でも直販型投信が出来はじめました。パリミキ

コクヨ ケー10 20X20

アセット（前クローバー投信）でもセミナーで熱心な勉強会がはじまり、色々経済や社会情勢まで、初心者に向けて教えていただきました。少ない資産でも長期で積立てる。私の老後に向けての資産作りがはじまりました。今日の文を書くにあたり、十五年前のセミナーノートを読み返して見たら、セミナー後の質問（長期投資っていつまですればいいのですか？）答（フットセロヴェット）子や孫に引きついで続けていく資産形成です」とありまし

た。その時、ハーツなるほどコツコツ長期投資の意味が腑に落ちた一瞬でした。セミナー勉強会でもホルダー仲間が来て、ビンテージになれるかもツアーにもよく出かけました。パリミキツアーの中でも、七十歳にしてはじめての海外旅行となったヘイス（イス）への旅で、旅仲間の皆さんにバースデーの祝いをしていただいた事は忘れられない。一生の思い出となりました。長期積立てのおかげで年金の不足を補うことも頼りにな

コクヨ ケー10 20X20



あいのり仲間



る秋が来たる事、これからも積立て運用にあ
いのりさまにいただき、健康でへ少欲知足
を心がけ、子や孫たちのお手本になれる楽し
い婆ちゃんになりたいと思うこのごろです。
巡り会えた皆さまに心から感謝して。

榎本 暁美

コクヨ ケー10 20X20

榎本さんとは、我々が2013年にクローバー・アセットマネジメントを引き継いだ時からの付き合いです。

明るい性格で、「何があっても何とかなるわよ！」って感じ。これまで、いろいろ助けていただきました。原稿をお願いすると、いつも原稿用紙にキレイな手書きで、いただくので今回はそのままを皆様にお見せします。ワードにするのはもったいないですから。榎本さんのお人柄が伝わってきますよね。

写真は、2017年の春のスイスツアーの時の写真。8日間のツアーの最終日に、ジュネーブのレマン湖の畔にあるパリミキインターナショナルのオフィスで手作りパーティーをみんなでやって、まさにその日誕生日だった榎本さんのために特別班がこっそり買ってきたケーキでお祝いしました。

笑顔爆発！いろんなところにご一緒していますが、どこに行ってもとことん楽しまれていますよね。

磯野

あいのり仲間の皆様へ

いつもご支援ありがとうございます。

さて、この度、私 磯野昌彦は9月30日をもって代表取締役社長を退任させていただくことになりました。

2013年3月に、多根幹雄社長（現パリミキホールディングス会長）とともに当時のクローバー・アセットマネジメント㈱を引き継がせていただき12年、直近2年間は代表取締役社長として、経営に邁進してまいりました。弊社は、もともと直販で、直接お客様に直面して、投資哲学や運用方針を十分ご理解いただいた上で、ファンドをご購入いただくという営業手法をとり、主にセミナーを軸に、口コミでお客様をひろげてまいりました。我々が引き継いでから、ゆっくりですが純資産総額もおよそ10倍となり、一定程度の成果をあげることができました。これも皆さまのご協力のおかげです。本当にありがとうございました。

当社は2024年7月にはパリミキホールディングスの100%子会社となり、パリミキグループの金融領域への事業拡大の戦略子会社として新しいステージを迎えております。具体的には、直販の更なる強化に加え、我々の投資哲学や運用方針を十分ご理解いただける証券会社（販売会社）のお力を借りて、純資産を大きく伸ばしてゆく方向に舵を切りました。

今回の退任は、このタイミングで私は役割をいったん終え、この方向性に最適の富田秀夫氏に後をお任せすることとしたものです。

この12年間は、主に、お客様とのコミュニケーションを担当してきました。

堅苦しくない独自のセミナーで最後には交流会があり、お客様同士の交流も図るというもの、「ヴィンテージになれるかもツアー」という運用に関連付けた海外、国内のツアーの企画、2017年から始まって毎年春秋開催の「たねころ山ツアー」は、お客様にもいろいろお手伝いいただき、こちらも楽しませていただきました。そういう意味では、私も個人的に投資しているファンドに「あいのり投資」していただくスタンスをそのままいろんなイベントにも表わしてきたつもりです。

退任後は、しばらくのんびりして、そのうち、あいのり仲間として、パリミキアセットのセミナーやイベントに参加させていただきたいと思っております。その時は、気軽にお声がけください。

引き続きパリミキアセットマネジメントをよろしくお願いいたします。

株式会社パリミキアセットマネジメント
代表取締役社長 磯野昌彦



8月1日からシニア ストラテジストとして「チームあいのり」のメンバーに合流しました西山昇(にしやまのぼる)です。

証券会社、運用会社を含む金融業界での30年超の業務経験を活かし、パリミキアセットマネジメントの発展に貢献することを目標にしています。

私自身は、これまで複数の会社に所属してきました。その中で証券会社においては資産運用モデルの研究開発。日本の運用会社では、ファンドの運用・管理。また外資(スイス)系の運用会社では、個別ファンドの特性に沿ったリスク管理に取り組みました。これらの経験からファンド運用・管理における透明性の確保や、投資家の皆さまへの適切な情報提供の重要性を感じています。

みなさまとお会いする機会には、リスペクト(尊敬)の念をもったコミュニケーションを大切にして対話させていただきたいです。

よろしくお願いいたします。



西山 昇

- 略歴 -

1990年	和光証券（現みずほ証券）に入社 ニューヨークの資産運用会社出向を含め資産運用モデルの研究開発に従事
1999年	朝日ライフアセットマネジメントに入社 投資戦略部にてオルタナティブ（代替）投資のファンドマネージャーとしてリスク管理を担当 その後エコノミストとしてマクロ経済調査、管理部にてパフォーマンス・リスク管理業務に従事
2006年	クレディ・スイス投信（現アバディーン投信投資顧問）のリスク管理部長（東京）着任
2010年	東工大の研究員（非常勤）、運用リスク管理のコンサルタント（独立）に従事
2019年	朝日ライフアセットマネジメントに再入社、シニアファンドマネージャー着任、FoHFの運用を担当
2025年	現職 パリミキアセットマネジメント シニアストラテジスト

パリミキアセット ほろ酔いトーク2025

毎年恒例の「ほろ酔いトーク」、今年も開催いたします。お酒を飲みながら、楽しくリラックスして、あいのり仲間同士の交流を深めていただく企画です。

今回は、ファンドマネージャー宇野の欧州出張報告(13日で4か国、5都市、23ファンド以上を巡る旅)を中心に楽しい企画を考えております。

また、弊社代表取締役社長の磯野が9月末を持ちまして退任の運びとなり、あいのり仲間の皆様に、お礼を申し上げる機会にしたいと思っております。

〈東京〉

9月12日（金） 18：00～20：00

参加費用等について

定員：25名 参加費：2,000円

会場

パリミキアセットマネジメント 会議室

東京都中央区銀座二丁目8番4号 泰明ビル2F

(ビル1階はカフェ・ペローチェです)

(東京メトロ有楽町線「銀座一丁目駅」11番出口 徒歩1分)

(東京メトロ銀座線、丸ノ内線、日比谷線「銀座駅」

A13番出口 徒歩4分)

〈大阪〉

9月20日（土） 13：00～15：00

参加費用等について

定員：25名 参加費：2,000円

会場

パリミキ アメリカ村店2F サロン

大阪府大阪市中央区西心斎橋2丁目10番30号

蔵人西心斎橋ビル2階

(大阪メトロ「心斎橋駅」8番出口 徒歩4分)

お知らせ



で情報発信中！

@PM_Asset



マーケットに関するコメントやセミナー情報など発信しております。
ぜひフォローをお願いいたします！

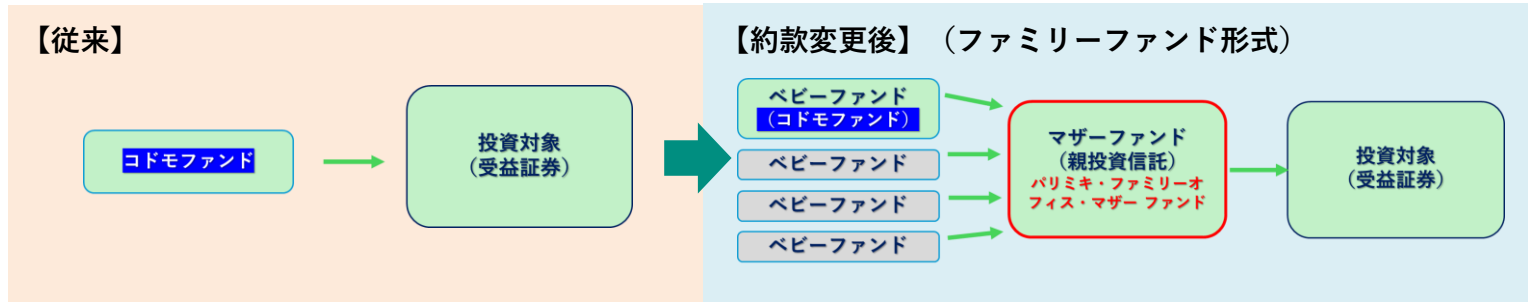
「重大な約款変更に関する書面決議のお知らせ」・「議決権行使書」の交付について

コドモファンドのファミリーファンド化に伴う、「重大な約款変更に関する書面決議のお知らせ」・「議決権行使書」を8月上旬に送付しました。

2025年8月7日現在、コドモファンドの残高があるお客様が対象となっております。

この度の約款変更に伴い、当ファンドの運用方針および商品性につきましては、従来通りで変更はなく、運用資産の拡大を実現し、より効率的な運用を目指すことを目的としております。

皆さまには何卒ご理解をいただき、重大な約款変更にご賛同を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。



なお、本件に関する補足説明につきましては、ホームページに掲載しておりますので、ご参照ください。

ファンドにかかわるリスク

当ファンドは、値動きのある国内外の株式等に投資する投資信託証券に投資しますので、基準価額はその影響を受け変動します。
投資信託は預貯金と異なり、投資元本が保証されているものではありません。投資による利益および損失は、すべて受益者（投資者）の皆様に帰属します。

基準価額の主な変動要因としては、価格変動リスク、信用リスク、流動性リスク、為替変動リスク、カントリーリスク等があります。リスクについての詳細は投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

ファンドにかかわる費用

当社が扱う投資信託に、購入・換金手数料および信託財産留保金はありません。

当資料のご利用にあたっての注意事項

- 当資料は株式会社パリミキアセットマネジメントが運用するファンドの運用状況をお知らせするために作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。取得の申込みにあたっては、投資信託説明書（交付目論見書）等をお渡ししますので必ず内容をご確認の上、ご自身でご判断ください。
- 当資料に記載された過去の実績は、将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものではありません。
- 当資料は信頼できると考えられる情報に基づき作成されていますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料中に示された意見等は、作成日現在の当社の見解であり、事前の連絡なしに変更されることがあります。
- 投資信託は、預金や保険契約と異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。
- 当社でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。
- 当資料中に示された数値は、作成基準日現在において入手可能なデータを参照し、弊社にて計算しております。

毎月つみたてスケジュール

次回引落日は、**9月5日（金）**です。

9月分金額変更・中止・再開締切日… **8月25日（月）**

10月分新規・口座変更締切日… **9月3日（水）**

※毎月つみたてサービスの金額変更・中止・再開については、お電話・マイページ上（再開を除く）でも承っております。

再開につきましては、書類でのお手続きとなりますので、お電話・マイページ上・ホームページ上にて用紙をご請求ください。



株式会社パリミキアセットマネジメント
 お客様サポートチーム
 （受付時間：平日9時～17時）
 お客様専用通話料無料ダイヤル:0800-5000-968
 E-mail: support@pmam.co.jp

PARIS MIKI ASSET MANAGEMENT